

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		野田川最終処分場整備事業					
事業の概要		<p>当施設は、山間部窪地を遮水シートで覆い埋立地とした一般廃棄物最終処分場であり、埋立地内に降った雨等は、埋め立てられた廃棄物の間を通り遮水シートによって一箇所に集められ、汚水処理施設を経て河川に放流される。</p> <p>今般、遮水工の損傷検知システムが一部区画において異常状態を検知し、遮水シート損傷の可能性が認められたため、これを調査し適切に整備するものである。</p> <p><内容> 遮水工の修復及び機能確認工事</p>					
		事業期間	平成18年度				
		総事業費	1,417	本年度事業費	1,417	交付金交付額	708
事業評価	事業の必要性	当最終処分場において、遮水工の損傷検知システムが一部区画において異常状態を検知し遮水シート損傷の可能性が認められたため、これを適正に処置し周辺環境を良好に保つ必要がある。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果 最終処分場からの浸出水の地中や河川への流出を阻止し、環境汚染を防止するためにも早急に取り組むべき事業である。					
5 行財政改革に資する成果 損傷が微小なうちは遮水シート内に止水剤を注入し固化させることで漏水を回避できるが、損傷が拡大するとこの手法では対処できなくなり、埋立物を掘り起こしてシート自体を張替えなければならなくなる。しかしこれには相当の費用を要することとなる。このように異常を早期発見・対処することで、より少ない財政負担で最終処分場としての機能の確保に資する。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。